

平成24年度国債管理政策の概要

国債発行規模

- 平成24年度の国債発行総額は174.2兆円、カレンダーベース市中発行額(入札による市中への発行額)は149.7兆円となり、いずれも当初計画としては4年連続の増額。

平成24年度の主な施策

○ 確実かつ円滑な国債の発行

- 欧州ソブリン危機等、世界的に金融市場が不安定な環境において、国債発行総額が当初計画としては過去最大となるなか、確実かつ円滑に資金調達を実施するため、市場との対話を通じて、投資家の需要や市場の動向等を踏まえた国債発行計画を策定。
- 中長期的な借換リスクの低減にも配慮して、カレンダーベース市中発行額の増額分については、20年債及び10年債の増額で調達し、平均償還年限を着実に長期化(7年9ヶ月)。

○ 個人向け復興国債・復興応援国債の発行

- 「個人向け復興国債」の発行
 - ・東日本大震災からの復興のための財源に充当するため、「個人向け復興国債」を引き続き発行。
- 「復興応援国債」の発行
 - ・さらに、復興を応援する観点から、当初3年間は低い金利(0.05%)で資金を提供して頂ける方を募る新商品を、平成24年4月から発行。

○ 物価連動債の発行再開に向けた検討・準備

- 物価連動債について、発行再開に向け、市場関係者を交え、具体的な商品性等に係る実務的な検討を進める。準備・環境等が整い次第、発行を再開。

平成24年度国債発行予定額

〈発行根拠法別発行額〉

区分	23年度(当初)	23年度(4次補正後)	24年度(当初)
新規財源債	44.3兆円	44.3兆円	44.2兆円
復興債	-	11.6兆円	2.7兆円
財投債	14.0兆円	16.5兆円	15.0兆円
借換債	111.3兆円	109.2兆円	112.3兆円
国債発行総額	169.6兆円	181.5兆円	174.2兆円

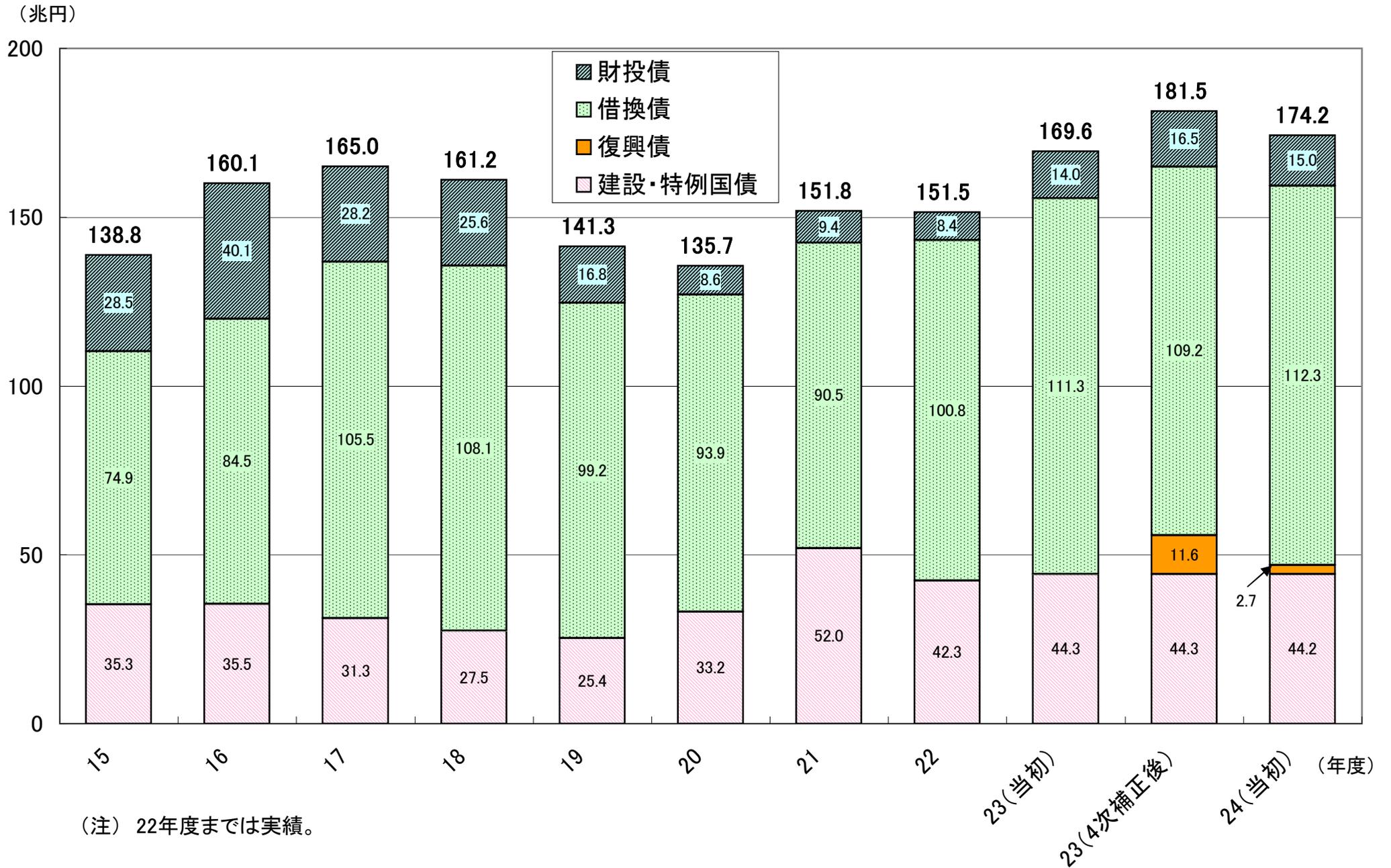
〈消化方式別発行額〉

区分	23年度(当初)	23年度(4次補正後)	24年度(当初)
市中発行分	155.3兆円	166.2兆円	154.5兆円
カレンダーベース市中発行額	144.9兆円	144.8兆円	149.7兆円
うち20年債	13.2兆円	13.2兆円	14.4兆円
うち10年債	26.4兆円	26.4兆円	27.6兆円
個人向け販売分	2.5兆円	3.5兆円	3.0兆円
うち個人向け国債	2.0兆円	3.0兆円	2.5兆円
日銀乗換	11.8兆円	11.8兆円	16.7兆円
総額	169.6兆円	181.5兆円	174.2兆円

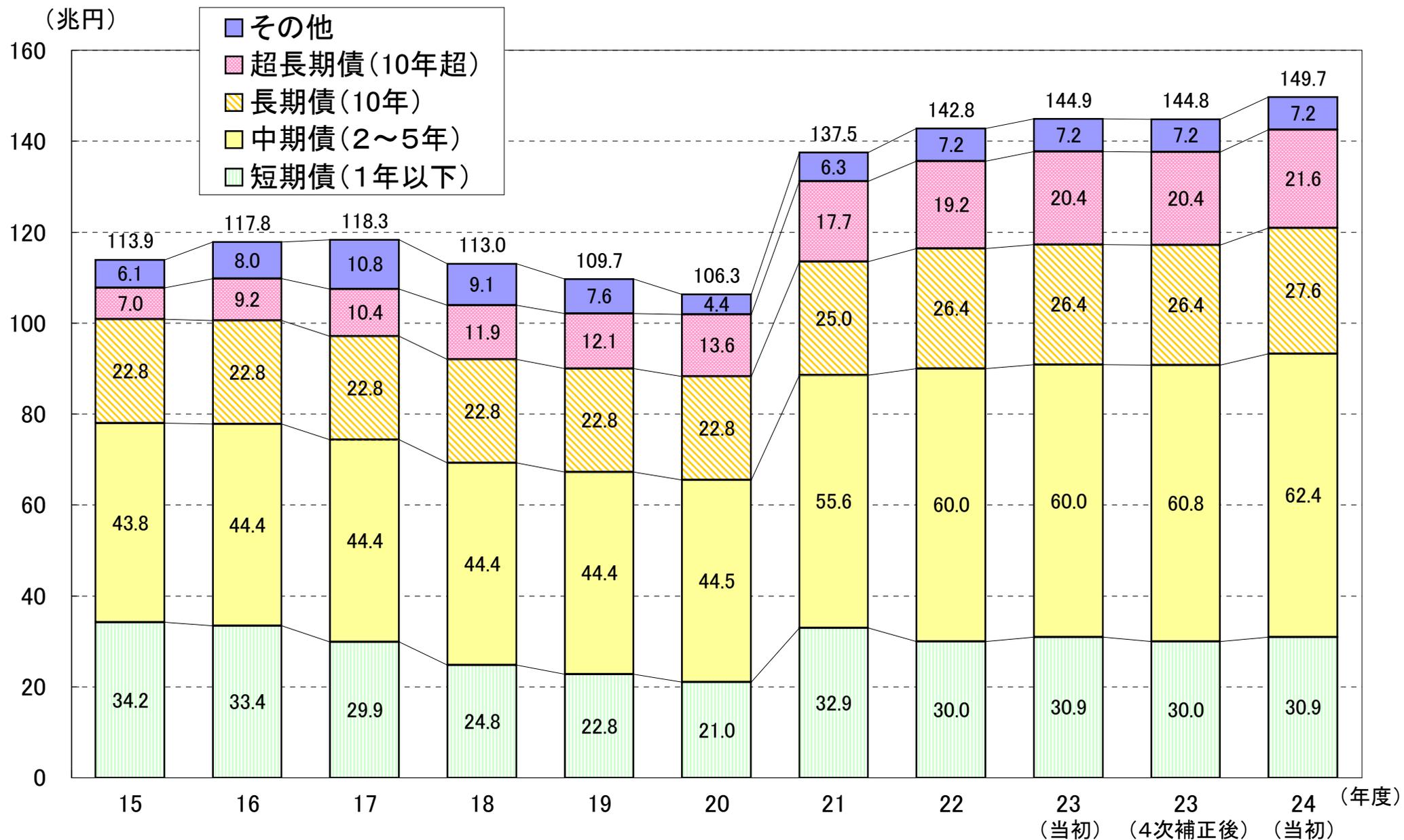
(参考)買入消却について

○市中からの買入消却について、総額3兆円程度を上限に実施

国債発行総額の推移

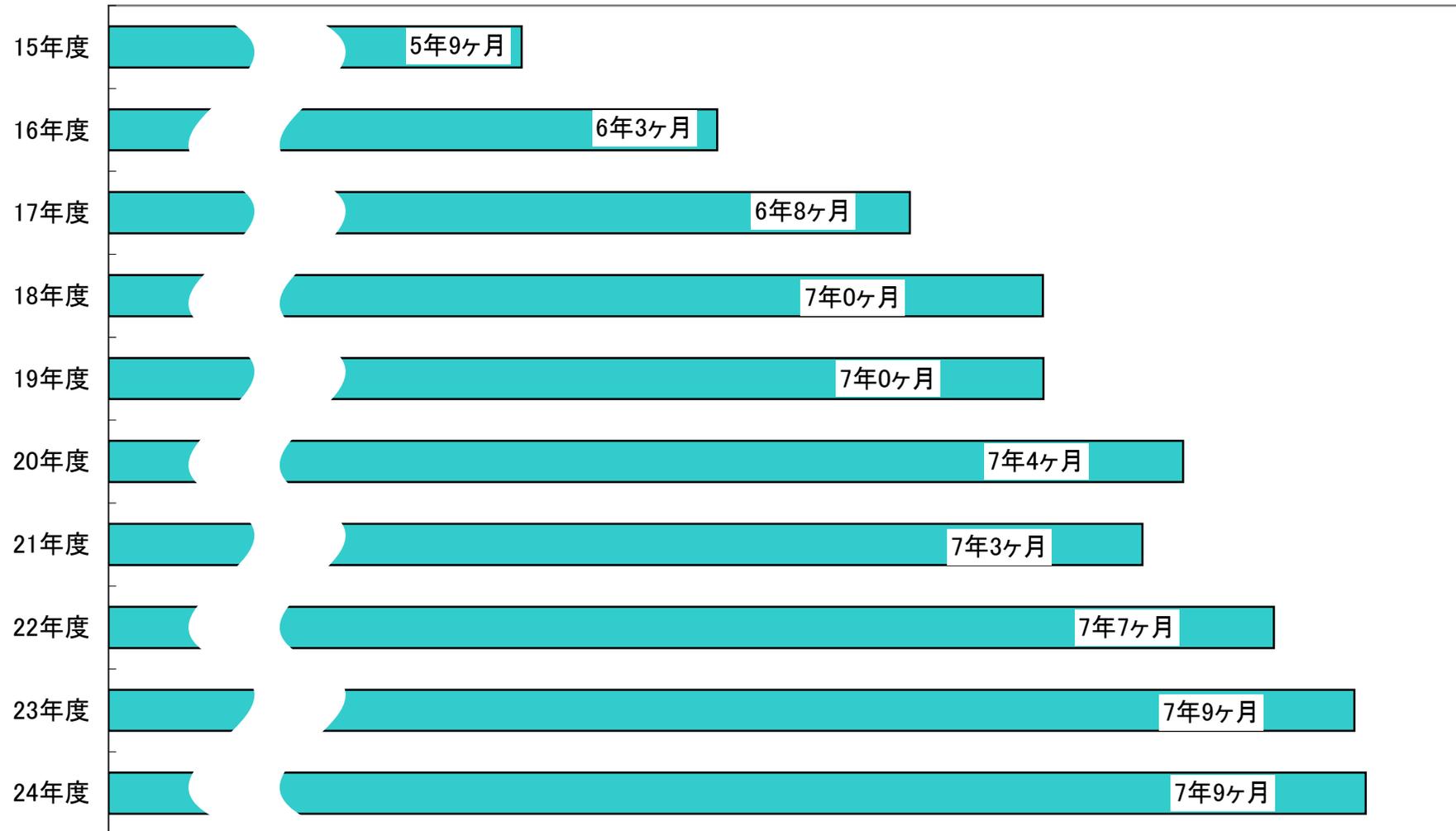


カレンダーベース市中発行額の推移



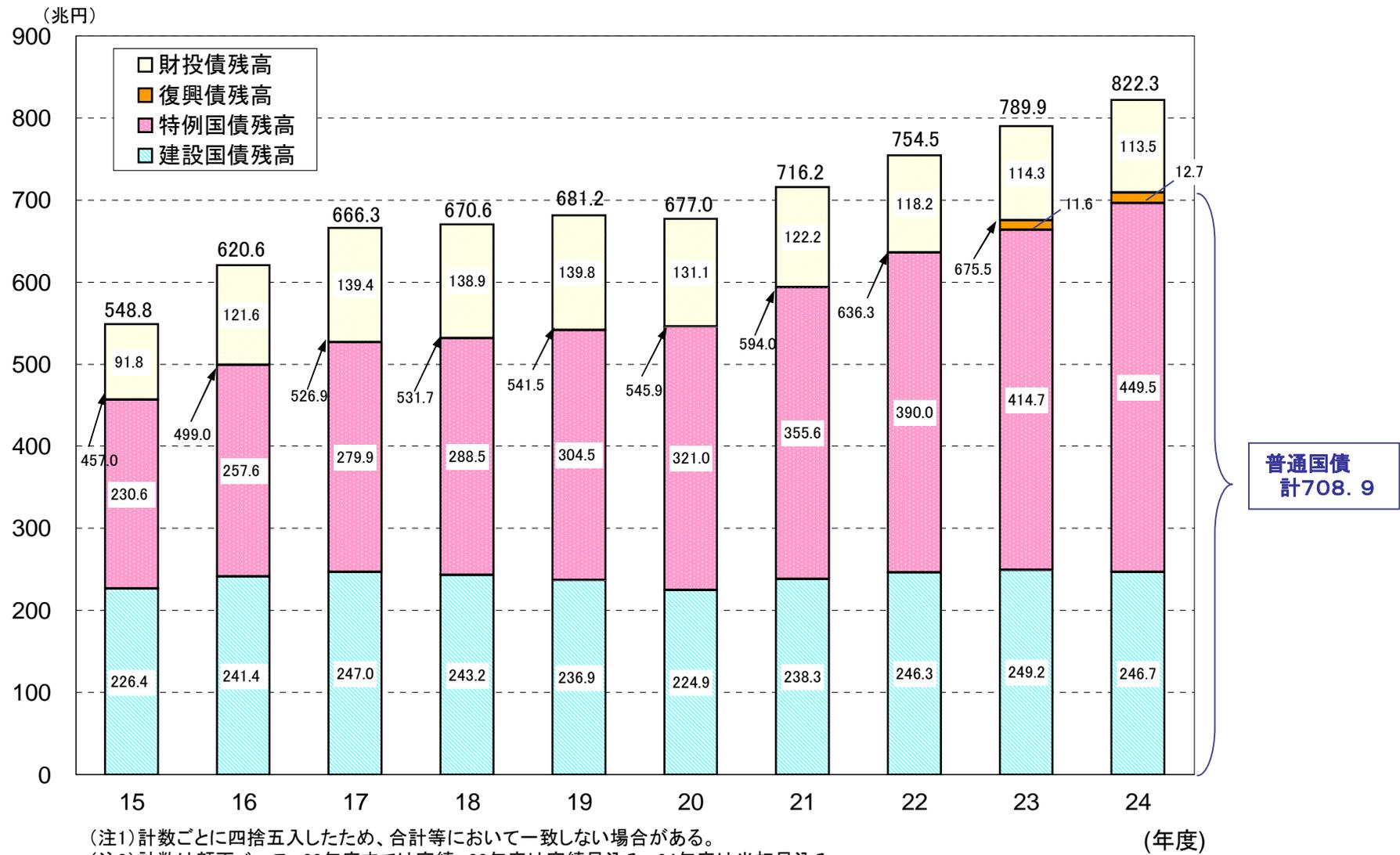
(注) 22年度までは実績。

カレンダーベース市中発行額の平均償還年限



(注)22年度までは実績、23年度は4次補正後、24年度は当初。

国債発行残高の推移



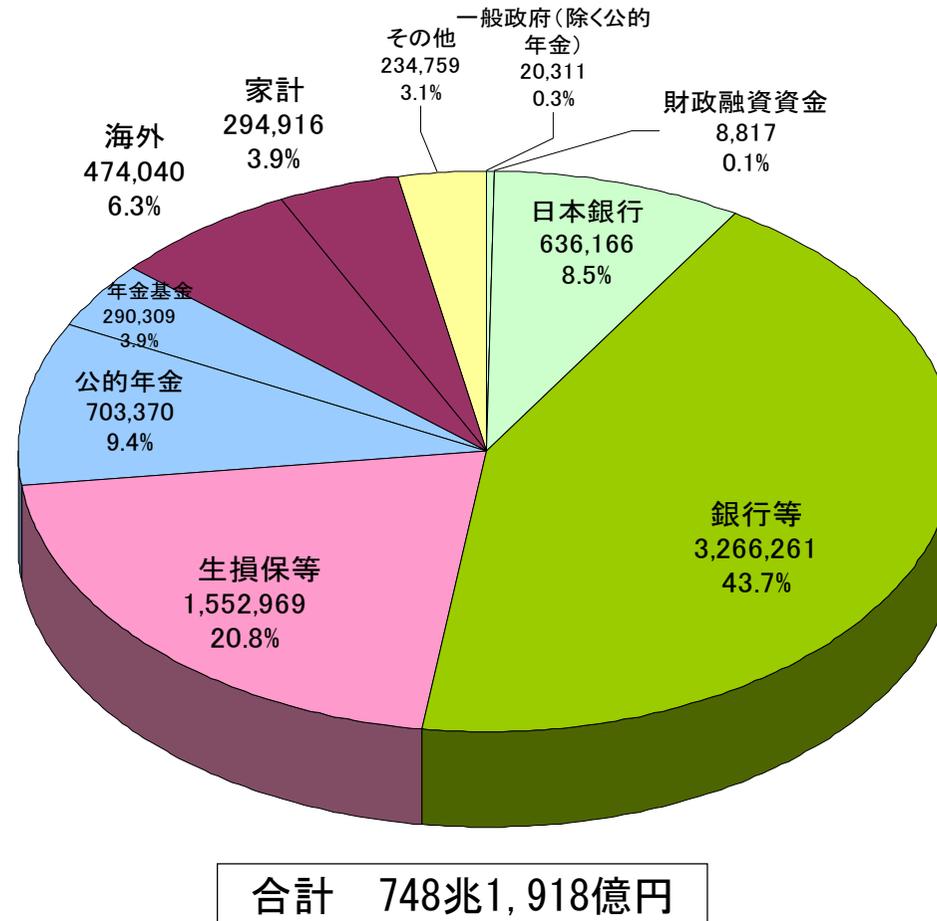
(注1) 計数ごとに四捨五入したため、合計等において一致しない場合がある。

(注2) 計数は額面ベース。22年度までは実績、23年度は実績見込み、24年度は当初見込み。

(注3) ここでの特例国債残高には、承継債務借換国債等を含む。

国債の所有者別内訳

(平成23年9月末(速報))



出典:日本銀行 資金循環統計

(注1)「国債」は財投債を含むが、国庫短期証券(T-Bill)は含まない。

(注2)「銀行等」にはゆうちょ銀行、「証券投資信託」及び「証券会社」を含む。

(注3)「生損保等」はかんぽ生命を含む。